意見交換会を開催

～各委員会ごとに設定したテーマに加え、
市議会の概要及び議員定数等に関する
共通のテーマを設け意見交換会を開催～

天草市議会では、１月から２月にかけて、市内の各種団体の皆様と意見交換会を開催しました。

今回は、各常任委員会ごとに、各地区まちづくり協議会、天草市地域婦人会連絡協議会、第一次産業若手就業者、各民生委員児童委員協議会、市内小・中学校ＰＴＡの皆様と実施しました。

建設経済委員会

実 施 日：令和６年１月23日
実施団体：第一次産業若手就業者（19名）
委員会テーマ：第一次産業の現状と課題について

総務政策委員会

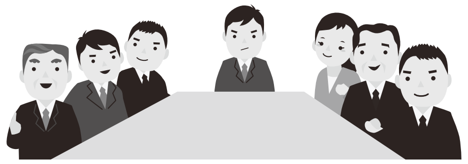
実 施 日：令和６年２月２日
実施団体：各地区まちづくり協議会（28名）
委員会テーマ：まちづくり協議会の活動における現状と課題について

教育厚生委員会

実 施 日：令和６年１月25日
実施団体：①各民生委員児童委員協議会（28名）
②市内小・中学校ＰＴＡ（26名）
委員会テーマ：①民生委員・児童委員の活動における現状と課題について
②天草市の子育て支援について

市民生活委員会

実 施 日：令和６年２月10日
実施団体：天草市地域婦人会連絡協議会（23名）
委員会テーマ：地域婦人会の活動について



【意見交換を終えて】

市議会の概要及び議員定数等に関するテーマにおいては、議会の活動状況等に関する説明を行い、議会に対する理解を深めていただきました。本市議会の議員定数等に関する内容や人口減少対策などについて意見交換を行い、多くのご意見をいただきました。

各委員会ごとに設けたテーマにおいては、日頃の活動における現状や課題について、様々な生の声を直接お聞きし、議会としても課題等を改めて認識することができたほか、今後、本市として必要な取組や支援の在り方など、前向きなご意見や要望等を多数いただきました。

参加された市民の皆様からは、「議会（議員）を身近に感じることができた」「ぜひ今後もこのような機会を設けてほしい」との声も多く聞かれ、大変有意義な意見交換会が開催できたと考えています。

今回の意見交換会におけるご意見や要望等については、議会内での情報共有はもちろんのこと、市の執行部へも情報提供を行い、今後の議会活動及び市政への反映に生かしていきます。

意見交換会ってなに？

天草市議会では、議会の活性化を目指し、平成24年３月に議会基本条例を制定し、同年４月から施行しました。

これにより、様々な議会改革を実施しており、この一つとして市民の皆様の意見を議会活動に生かすことを目的とした議会報告会を開催してきましたが、平成26年度からはこの議会報告会に替わり、各種団体とテーマを決めて意見交換会を開催しています。

政務活動報告（行政視察）

令和６年２月６日～８日
天政会（勝木幸生・小川圭三・鯖江達朗）

■視察先・視察内容
・和歌山県有田市
MarryYou―結婚するなら有田市への取組について
・広島県大竹市
大竹市可燃ごみ中継施設について

視察報告

有田市では、「結婚」「妊娠・出産」「子育て」「自立」の各ステージで、まちの希望を担う子ども・若者・子育て世帯に積極的な支援を展開し、定住につなげるとともに、市外から有田市への移住を促進されていました。

大竹市では、可燃ごみの廿日市市（はつかいち）との広域処理に伴い、大竹市から排出される可燃ごみを衛生的に効率よく集積し運搬するため、小型・中型収集車で回収し中継施設において圧縮・貯留し、大型パッカー車で、はつかいちエネルギークリーンセンターに搬出されていました。

視察を終えて

結婚、妊娠・出産、子育てについては、若い世代をまち全体で支え、見守るような政策が必要だと感じました。

ごみ中継施設については、新施設の建設か、現在の施設の改修か、どのような形の施設とするのか、また、工事期間のごみ処理や運搬用のパッカー車の種類などの問題があることを考えさせられました。

QRコードで質問の動画が見られます

職員数の現状と今後の業務体制、基幹産業である第一次産業について

柴田　誠　（政友会）

【職員数の現状と今後の業務体制について】

問 職員数の減少による業務への支障を生じさせないための取組は。

答 適正な人事配置と効率的な組織体制の構築に努めて、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて取り組む。また、今年度より社会人経験者枠を設け、これまで民間企業等で培った専門知識や技能を生かして即戦力となる職員の確保に努めている。引き続き、天草市職員として働くことへの魅力向上を図り、職員がやりがいや充実感を感じることができる職場づくりに向けて努めていく。

【基幹産業である第一次産業について】

問 第一次産業の振興策について、どのように考え、どのように取り組んでいくべきか。

答 温暖な気候を生かした農業や、豊かな水産資源を生かした水産業を基幹産業として発展してきた。第一次産業の振興なくして天草の発展はない。そうした考えで事業に取り組んでいる。農林水産業から生み出される産品は、地域での卸・小売り、食品製造加工業、飲食業、観光産業等様々な業種を支えている。また、産品の多くは市外へ流通し「天草」の知名度向上と併せ、域外からの資金の獲得で地域経済の源泉ともなっている。重要な役目を担う産業であり、天草の地でしっかりと根をおろして、頑張る農業者、漁業者をこれからも支援していく。